速報と予想の「中部地方の沖釣り情報」

**釣 行 記**

**！ 伊勢湾大山沖　イサキ　活発 ！**

　絶好の釣り日和の6月9日（日）、師崎の七福丸の「イサキ乗合い」に釣友の林さんと二人で乗り込み、大山沖の夏魚に挑戦した。 好天のせいか、船上は28人の釣客であふれんばかりであった。　途中、カツオ・サバの乱入で“お祭り騒ぎ”が連発したが、夏魚の強い引き込みを味わい、充実した一日を送ることができた。

定刻の5時30分、七福丸は本日のポイントの大山沖に向か

って、静かに岸壁を離れた。 約1時間の航程でポイントに到着。

操船中の船長から「ハイドーゾ」という合図が出た。

　私は、コマセかごに7分目程コマセを詰め、80号オモリと

共に（船宿指定の）“ショート吹き流し2本バリ仕掛け”を投入

した。　船長の指示ダナにハリス長を加えた分だけ降ろし、糸ふ

けを取り、仕掛けが潮になじんでから、巻き上げながら段階的に

コマセを振り出し、コマセの中にオーロラスキン鈎が漂うように

演出しながらアタリを待った。

　　　　　　**イサキ・カツオ・サバ 次々と釣れ上がる ！**

　直ぐにアタリがあり、25ｃｍほどのイサキが上がってきた。

その後もコンスタントにアタリが続いた。 船中至る所でサオ

が曲がり、イサキが次々と釣り上げられていった。

　8時過ぎ、竿先に今までとは違った食い上げアタリが出た。

竿先を上げながらリールを巻くが、重くて中々上がってこない。 それもそのはず、隣の釣り人の仕掛けを巻きこんで32ｃｍ34ｃｍのカツオが一荷で上がってきた。 数分後、カツオと同じようなアタリで、37ｃｍのサバも上がり、クーラーの中が一層賑やかになっていった。

　　　　　　　　　　　**大山沖のイサキ 好釣持続 ⁈**

12時30分に納竿。 本日の釣果は、23～28ｃｍのイサキ18匹、32・34ｃｍのカツ

オ3匹、37ｃｍのサバ2匹の合計23匹であった。 まだまだ、大山沖のイサキの好釣

は続くものと思われます。 紫外線対策・熱中症対策を充分にしてお出かけ下さい。

　釣り場に月

良型イサキを持って

サバを手に林 賢三さん

＜ 6／14 　釣人　平尾 義弘 ・監修　松岡隆春 ＞